
万屋「ルーエ」の日常

栗原加賀見

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

万屋「ルーエ」の日常

【Nコード】

N79460

【作者名】

栗原加賀見

【あらすじ】

ルーエ：Ruhe ドイツ語で「憩い・平穏・平静」という意味。この物語は経営する気が全く無い万屋、「ルーエ」の店主であるルーエが過ごす至って普通な非日常を記す物語。

舞台はルーエが住む街が誇る剣術・魔術・その他総合学園、通称「学園」と、その学園が存在する最大の理由である頂上が分からないほどの高さを誇る塔型ダンジョンである「天」と、その真逆の深さを誇る洞窟型ダンジョンである「地」。

今日も彼の店には閑古鳥が鳴いている。

第1話 万屋「ルーエ」で閑古鳥が鳴いている

ルーエ：R u h e ドイツ語で「憩い・平穩・平静」という意味。

この物語は経営する気が全く無い万屋、「ルーエ」の店主であるルーエが過ごす至つて普通な非日常を記す物語。

舞台はルーエが住む街が誇る剣術・魔術・その他総合学園、通称「学園」と、その学園が存在する最大の理由である頂上が分からないほどの高さを誇る塔型ダンジョンである「天」と、その真逆の深さを誇る洞窟型ダンジョンである「地」。

今日も彼の店には閑古鳥が鳴いている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7946o/>

万屋「ルーエ」の日常

2010年11月8日22時34分発行